

【 保護者アンケート（択一部分） 】

A よくあてはまる B ややあてはまる を合わせてプラス評価
 C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない を合わせてマイナス評価

として、分析しています。

<択一部分については、後半にまとめて、3年間のアンケート結果を比較する形でグラフを入れ、データを示しています。>

□ プラス評価が80%以上である項目

1 「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。」	82.7	(%)
2 「学校は家庭への連絡等、きめ細かな対応をしている。」	83.7	
3 「通知表は、子どもの学力や達成度がわかりやすく表されている。」	80.4	(%)
4 「教職員は、子どもをよく理解している。」	85.4	
5 「学校は、いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。」	83.2	
6 「学校は、生命や人権を大切に作る心や態度を育てようとしている。」	87.7	
7 「学校は授業を参観する機会を設けている。」	97.3	
9 「学校では、子どもに関する個人情報が守られている。」	95.8	
10 「子どもは学校へ楽しく行っている。」	88.9	
11 「学校は決まりを守る態度を育てようとしている。」	90.5	
12 「学校は、楽しくわかりやすい授業に力を入れている。」	86.4	
14 「地震や台風等の場合の行動を伝えている。」	90.7	
15 「学校は、徴収金の徴収方法やその会計報告をわかりやすく伝えている。」	95.5	

□ プラス評価が80%を下回っている項目

8 「学校では保護者や地域の人と話す機会を設けている。」	78.0	
13 「片山中学校区の子どもに対する取り組みについて伝えている。」	52.7	

今年度は、昨年度より肯定的評価が上がったものが10項目、そのうちの5項目で90%以上の評価をいただきました。今年度も、保護者の皆様には学校の教育活動へのご理解と、多大なるご協力・ご支援をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。今後も現在の取り組みに満足せず、子ども達がより「学びたくなる」授業づくりや「行きたくなる」学校づくりを目指してまいります。

8「対話する機会」については、参観や懇談、地域の方にお越しいただく授業や行事等で、昨年度の60.3%から評価は伸ばしたものの、80%には至りませんでした。保護者の皆様や地域の方と、より対話の機会を増やしていくことを、今後も検討し、努力してまいります。また参観・行事等だけでなく、いつでも学校が対話や相談ができる場であると感じていただけるように、教職員一同で開かれた学校づくりを進めていきます。

13「片山中学校区の取り組みを伝える」は、昨年度の55.1%とほぼ同様の厳しい評価でした。片山中学校ブロックの取り組みとして、今年度は夏季合同研修会で生徒指導研修、秋季行動合同研修会で授業公開や各学校間の交流を行いました。よりよい指導のため共に研鑽に努め、片山中学校区の子どもの姿について共有を図っていることについて、保護者の皆様に十分に周知ができなかったことを受け止め、今後は中学校ブロックでの取り組みについてより広く発信してまいります。

【 保護者アンケート（記述部分） 】

学習

【子どもの理解度に合わせた授業を/個別にフォローや、さらに能力を伸ばせる環境を】

どの子どもも「わかる・できる」授業を目指し学校全体の取り組みとして「ユニバーサルデザインの授業づくり」に、今年度取り組んでいます。また子どもの姿や取り組みの様子から理解度を見取り、授業の進め方や指導に反映させていくことや、一人ひとりの状況に合わせ適切に声かけ等を行っていくことを、これからも意識して進めてまいります。さらに、個別の学習状況や理解度に応じて学習課題や活動内容を設定したり、児童が自分で選択したりできるよう、一人ひとりに合わせた学びも充実させていきます。

【クラスや先生によって進め方が違う/保護者への説明がほしい】

クラス担任、専科教員により教え方をそれぞれで工夫していますが、学年としての基本方針（学習の進め方や進度・宿題のしかた等）について各学年で確認し、指導にすれがないようにしてまいります。各学年や学級の取り組みについては、保護者の方に目的や内容をご理解いただけるよう、学級懇談会や学年（学級）だより等で伝えていくことに努めていきます。また、学級における課題や子どもたちの姿については学級及び個人懇談会でお知らせしてまいります。なお、学習や宿題について、気になる点がありましたら担任にご連絡いただきますようお願いいたします。

行事・授業参観

【保護者参加の行事について/子どもの普段の姿を知りたい/自転車での来校は/出入りのチェックについて】

年度途中ではありますが、今年度も多くの保護者の皆様に授業・行事をご参観いただき、ありがとうございます。参観いただける行事の「多い・少ない」の受け取り方は様々かと思いますが、子どもたちにとって必要な行事を、また保護者の皆様にお子様の姿を見ていただける機会を、今後も確保してまいります。今年度当初の学校だよりでもお知らせしていた通り、普段の様子については、いつでも気軽に来校いただき、子ども達の様子を見ていただければ幸いです。なお運動会や音楽会、校外学習など各行事に関するご意見は、参考にさせていただき今後の検討材料としてまいります。自転車での来校につきましては、校内での駐輪スペース確保及びその整理の為に人員確保の理由から次年度も今年度と同様とさせていただきます。行事で来校の際は、名札の確認を警備会社にも申し入れ、徹底させてまいりますので、今後とも名札の着用にご協力をお願いします。

学校と家庭の連絡方法について

【さくら連絡網やお便りのペーパーレス化について】

さくら連絡網に今年度途中から移行しましたが、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。学校行事のお知らせや、保護者の方へのご連絡等、次年度に向けて、ペーパーレス化に向けての取り組みを検討してまいります。お便りやさくら連絡網でのお知らせの不備については、事前の確認を徹底して改善してまいります。

いじめ対応について

【学校の取り組みについて】

学校の取り組みについては11月の学校だよりにてお伝えしておりますが、今後もいじめの起きにくい学校づくりと、チーム対応による早期発見と早期対応に努めていきます。なお、すでに警察の関連機関と連携し、いじめ防止・防犯教室を発達段階を踏まえて実施しております。引き続き、外部機関とも連携し、いじめ予防に努めます。いじめや児童間トラブルについては、保護者の方とも情報共有を図り、連携して対応を進めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

教職員の指導について

【指導のしかたについて】

すべての教職員が、場面に応じて適切な指導を行っていただけるよう、研修等を実施し、教職員としての専門性や技能の向上に努めてまいります。また担任だけでなくすべての教職員が、どの子どもにも適切に関わり、支援していくことを、学校として今一度徹底していきます。

その他

【教科書類の持ち帰りが大変/学校指定用品について/学校設備や教育環境について】

学年によって毎日持ち帰るものは異なりますが、学校に置いておけるものは学年等で統一し、必要以上に過度な持ち帰りがないようにします。

学校指定用品については、物品や購入先に関するご意見を頂戴しました。今後も子どもたちの教育に必要な物品についてご用意をお願いしたいと存じますが、購入いただくものの精選と検討は、随時行ってまいります。

学校設備・環境についてのご意見は、学校としても教育委員会へ施設改修に係る要望をあげるとともに、学校でできる工夫、改善については、適宜行ってまいります。

体育における着替え場所等のご意見については、子どもの発達段階や、学校の設備環境を踏まえると現状の体制を大きく変更することは難しいですが、どの学年においても、自分や他の人の心や体を尊重し、大切にすることを、学校として子どもに教え、指導してまいります。